

主な記事

2面・3面:全自交大会特集

4面:交運労協総会「多様性こそ公共交通と労働組合の価値だ」▽全自交・秋闘方針▽機関紙コンクール結果発表

全自交しんぶん

第1265号

10月30日

(有料制1089号)

2025年/令和7年

THE ZENJIKO
全自交しんぶん

発行=全国自動車交通労働組合連合会
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3丁目7番9号
電話=03東京(3408)0875
FAX=03東京(3497)0107
zenjiko-roren@zenjiko.or.jp
発行責任者=本田 有
原則毎月15日発行(月1回)
……購読料 1ヵ月 70円……

自民・維新政権 労働者の危機

10月21日、自民党と日本維新の会が組んだ高市政権が発足しました。

日本維新の会は、閣外協力となりましたが、衆参とも過半数割れの自民党は、維新の協力がなければ政権運営が成り立ちません。まさにライドシェア完全解禁の危機が目前に迫る緊急事態となりました。さらに、これまで国土交通大臣を輩出し、防波堤の役割を果たしてきた公明党が連立を離脱したことで、交通運輸政策が労働者軽視に傾くことも強く懸念されます。

高市政権は発足後ただちに、労働時間の上限規制の見直し検討、憲法改悪と軍事費増額、社会保障制度の改悪検討など、命と生活を危険にさらす方針を打ち出しました。

さらに維新の会は、かつて大阪市営バスの運転士の給与を4割カットし、今も竹中平蔵氏を党の内部で起用するなど、一貫して労働者の敵であり続けてきた政党です。

この危険な内閣によって、我々の生活が破壊され尽くす前に、一刻も早く政権交代を成し遂げ、労働者目線の政治を我々の手で勝ち取らなくてはなりません。



今こそ 全産業平均以上の賃金 労働条件の実現!

再選された溝上泰央・中央執行委員長(左)
新任の本田有・書記長(右)

本田 新書記長就任

全自交労連は10月20・21日、横浜市の関内ホールにて第83回定期大会を開催し、「全産業平均を上回る賃金・労働条件の実現」に向け新たな一歩を踏み出しました。

役員改選により再選された溝上泰央中央執行委員長は、「ライドシェアに対しても、我々が自動運転に対しても、我々が自らの仕事をしっかりと新しい形で構築していけば、我々の仕事はなくなるはない」「全自交運動を未来につなぎ、地域公共交通を我々の手で守るため全自交労連団結して頑張ろう」と檄を飛ばし、全国から参集した約200人の仲間が声を一つに拳を突き上げました。

改選では、通算24年間役員を務めた北坂隆生副中央執行委員長をはじめ多数の役員が勇退し、新体制が発足。本部書記局では、野尻雅人書記長が専従の副中央執行委員長に昇格し、本田有書記次長が新書記長に選出されました。

本田新書記長は、愛知地連・名鉄交通労働組合出身。愛知地連の執行委員長(全自交労連副中央執行委員長)を4年間務めた後、2022年の第80回大会で本部書記次長に選任され、政治担当としてライドシェア阻止運動の重要な役割を担い、労連本部の運営や財政再建等に貢献してきました。就任に当たり「引き続き皆さまの協力をいただきながら、この重大な職責を担えるよう頑張りたい」と功裏に幕を閉じました。

大会では小池啓之代議員(神奈川地連)と、鳥羽紀行代議員(大阪地連)が議長を務め、加藤直人代議員(秋田地連)が書記を担当。野尻書記長が2024年度活動報告、25年度運動方針、同予算を提案し、水野潔副中央執行委員長が24年度会計を報告。松本和也役員推薦委員長が、次年度役員体制を提案し、全ての議案が承認されました。

自主経営による職場再建を目指す秋田地連あさひ自動車労働組合への支援カンパには多くの善意が集まり、団結を高める大会となりました。

大会2日目には、第84回札幌大会に向け北海道地連へと幌大会に向け北海道地連へと大会旗が引き渡され、第83回大会は、開催地である神奈川地連の仲間の貢献により、成功裏に幕を閉じました。

大会来賓

辻元清美
タクシー連
会長

政治変える決意

枝野幸男
立憲民主党
最高顧問

芳野友子
連合
会長

連合は政策の実現を第一に、右往左往せず実直に取り組むを進める。実質賃金はマイナス基調が続く、ここで再び賃金が上がらないデフレマインドに満ちた世界に戻すわけにはいかない。2026春闘は正念場だ。長時間労働によって健康を崩したり、尊い命を失った事例を労働者とともに決して忘れてはならない。連合として労働者の保護、産業の健全な発展のために、政策、運動の両面で全力で取り組む。

維新が(自民党の)補完勢力に加わり、身を切るだの、小さな政府だの、規制緩和だのという時代遅れの古い改革に戻そうとしている。いろんな分野で人を使い捨てにして、とにかく賃金を安くする政治や経営が日本の社会を駄目にした。時代を後戻りさせるのか、前に進めるのか。ここからの動きが重要だ。私どもは腐敗した政治、人を使い捨てにする政治を変えるため、徹底して闘ってまいりたい。

超党派のタクシー政策議員連盟は、がっちり力を合わせ、行政と事業者と働く者の三位一体でタクシー事業を発展させ働く人たちを守っていく。維新が政権に入りライドシェアの巻き返しに心配だが、大阪の万博24時間ライドシェアは失敗。関古島だった。正規のタクシーで働く皆さんや事業者が頑張ったから「ライドシェアはいらん」ということが明らかになった。この事実に基づいて闘っていく。

青ナバー

日本国民一人当たり年間約31円という計算になる▽なんの数字かな?というところ、維新の会が主張する通りに国会議員の数を50人減らした場合に削減できる支出の額だ▽31円……いまだき値玉ひとつしか買えないような金額で我々が売り渡すものがなんなのかを考えると、先の参議院選挙で森屋隆議員の議席を失った。長年、バスの運転士として働き、唯一、実感を持って交通運輸労働者の声を代弁できる議員の貴重な議席だった▽議員定数を削れば、このような貴重な議席はもう戻らない。様々な仕事、様々な生活、様々な人生を送ってきた国民の小さな声を代弁する代表者を失い、世襲議員や金持ち議員が、声の大きな者だけを代弁して政治を決めることになる▽維新のウソは、いつも同じだ。「身を切る改革」で切られるのは住民「既得権益打破」でぶち壊されるのはまじめに働いてきた者の生活、「規制緩和と競争」が向かう先は安売り・賃下げ競争である▽そのことを誰よりもよく知っているのが、ハイタク労働者ではないだろうか▽ウソまみれの「改革」など、もうたくさんだ。

K・T

溝上委員長あいさつ



これからも先頭に立ち続ける

痛恨の極みだ」と唇を噛み、ライドシェアとの闘いや、運賃改定を含めて「全自交労連は後退することのないよう、より一層の取り組みが必要だ」と訴えました。

高市政権の誕生については「日本で著しく右傾化が進むことが懸念される」とし、公明党の連立離脱について「筋の通った賢明な選択であった」と評価。自民党と維新の連立政権に関し「我々の労働運動の根幹である多様性や包摂性と、真逆な社会が出来上がらないように、しっかりと注視しなければ」と述べました。

共に未来へ

改選年に当たり「先人が目指した労働運動を、我々後進がしっかりと引き継ぎ、全自交労連は持続可能な組織として、これからも日本のハイタク労働者の先頭に立つて牽引していく」と語り、今大会での、未来に向けた運動方針の確立を期待。「ハイタク産業の明るい未来に向けて共に頑張りましょう」とあいさつを締めくくりました。

痛恨の極み

冒頭「私自身も平和運動で、沖縄、広島、長崎を訪れてみれば、各地でいまだ80年前の傷跡が多く残っている。人類史上、初めて原子爆弾の犠牲者になった我々日本国民として、やはり核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を今後も訴え続けねばならない」と平和への強い思いを表明。

要求の生命線

ハイタク労働者の待遇向上

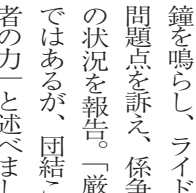
御来賓の皆さま

多数の来賓が駆け付け、全自交第83回大会の開催を祝っていたきました。



交運労協 小島哲 事務局次長

交運労協の小島事務局次長は、ライドシェア新法阻止に向けあいさつ。「推進派のデマ宣伝に対抗するため、ファクトを集めた」として、交運労協が実施したアンケート調査の内容を紹介しました。



国民民主党 企業団体委員会 西岡義高 事務局長

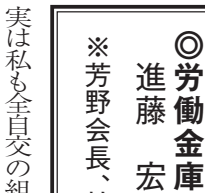


東京共同法律事務所 木下徹郎 弁護士

伊藤会長

「私も組合員でした」

神奈川県タクシース協会の伊藤会長は「今から約40年前



神奈川県タクシース協会 伊藤宏 会長

◎【神奈川選出友好議員】

※すべて立憲民主党

山崎 誠 衆議院議員

篠原 豪 衆議院議員

牧山 ひろえ 参議院議員

◎こくみん共済COOP

大好 博巳 常務執行役員

◎労働金庫連合会

進藤 宏樹 営業推進企画部部长

※芳野会長、枝野議員、辻元議員は1面掲載

実は私も全自交の組合員でした」とまさかの告白。大学卒業後、都内のタクシース会社に勤務していた時代に、全自交の組合員として過ごした思い出を「よき上長、同輩に囲ま

運動方針提案



運動方針や予算を提案する 野尻書記長

野尻書記長が2024年度活動報告を提案し、東海ブロックと北信越ブロックの結成、広島地本の再建、万博ライドシェアへの抗議行動、神戸相互タクシース労働組合の争議を特筆すべき出来事として言及しました。

運動方針案（前号で詳報）の提案では、「ライドシェア完全解禁を阻止すること、地方の公共交通を守る」として組合員の高齢化が進む中で全自交の活動資金、安定して生活できる賃金を目指していく」と提案しました。

2日目の大会とめでは「労働争議を抱える組合も多くある。引き続き一生懸命、闘っていききたい」と述べました。

質疑・討論

活動報告の討論では、兵庫地連の安尾崇伯代議員が自らの不当解雇撤回闘争について現状報告し「私を信じて組合に残ってくれている仲間のために、金銭解決ではなく現職復帰を求めて闘う。それができるのは皆さんの支援のおかげ。毎日感謝しています」と述べました。

大阪地連の加藤直人中央委員は、活動報告の討論で、「万博ライドシェアとの闘いで全自交労連の行動力の重要性・必要性を痛感した。維新が連立入りするとなれば、さらに



安尾崇伯代議員 (兵庫地連)



加藤直人中央委員 (大阪地連)



大会宣言 神奈川地連 田代英里さん

大会百景



加藤直人書記 (秋田地連)



次回は札幌大会。北海道地連へ大会旗を受け渡し



鳥羽紀行議長 (大阪地連) 小池啓之議長 (神奈川地連)



役員案を提案する 松本副委員長



会計報告をする 水野副委員長 監査報告をする 成田会計監査

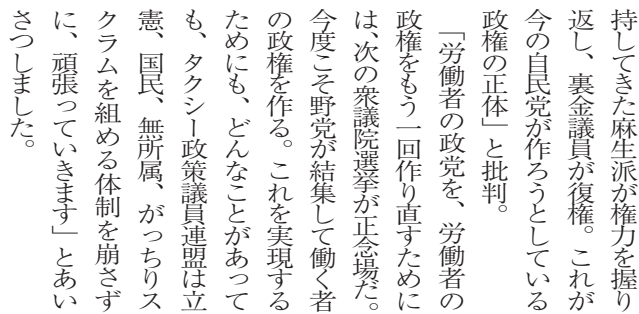
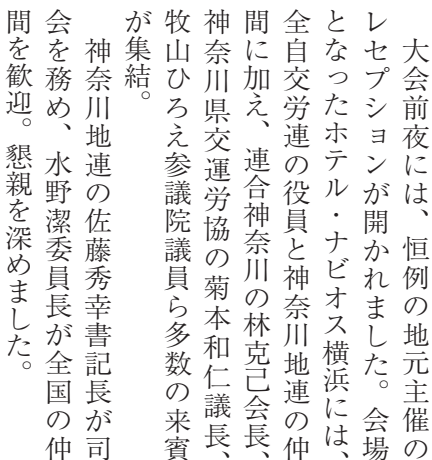


資格審査を報告する 下出副委員長

下出健雄資格審査委員長が次のように大会出席状況を報告し、両日とも大会構成員の3分の2以上の参加により大会の成立が確認されました。

【1日目】役員定数38名中出席33名▽代議員定数83名中出席74名・委任6名▽中央委員定数55名中出席41名・委任14名▽ほか傍聴65名

【2日目】役員定数38名中出席33名▽代議員定数83名中出席72名・委任5名▽中央委員定数55名中出席35名・委任18名▽ほか傍聴34名



交 運 労 協 総 会

多様性・包摂性を重視 ライドシェア新法阻止



再選された池之谷潤議長を中心に新たな役員陣が、交通運輸観光サービスで働く者の、連携・協働・共創を推進します。



陸・海・空の交通運輸観光サービス産業で働く60万人が集う交運労協（全日本交通運輸産業労働組合協議会）は、10月9日、東京の全日通霞が関ビルで第41回定期総会を開きました。

新事務局長に蒔田氏

陸・海・空の交通運輸観光サービス産業で働く60万人が集う交運労協（全日本交通運輸産業労働組合協議会）は、10月9日、東京の全日通霞が関ビルで第41回定期総会を開きました。

あらゆる差別や分断と闘い、多様性・公平性・包摂性を大切にするこや、引き続きライドシェア新法阻止のために闘うことなどを定めた活

2025年 秋闘方針（要旨）

全自交労連は10月19日の第7回中央執行委員会で、次の通り、2025年の秋季年末闘争方針を決定しました。

雇用・労働条件改善の取り組み

- (1) 賃金・一時金・退職金等の改善を求める。運賃改定時の賃率変更提案は、改定後の実績を検証し経営状況を開示させた上で、労働分配率が悪化せぬよう、春闘で交渉する。少なくとも労働条件改善につながる代案を引き出す。迎車料金にも適正配分を強く求める
- (2) 一時金の確保・増額
- (3) 法令違反根絶と長時間労働の改善
- (4) 職場施設の改善
- (5) 健康診断の充実や福利厚生者の拡充
- (6) カスタマーハラスメントの抑止・根絶に向けた対策と乗務員へのケア
- (7) 最低賃金の厳守

政策課題への取り組み

- (1) ライドシェア完全解禁阻止
 - (2) さらなる運賃改定や迎車料金の設定・増額、冬季割増料金の導入
 - (3) 日本版ライドシェアの終了条件明確化と早期終了
 - (4) 公的支援の拡充
- ### 闘いの進め方
- 11月中旬までに要求書を提出し、12月上旬の解決を目指して交渉。妥結状況等を全自交労連に報告する。

最後の「慶島節」



慶島・前事務局長

交運労協で長年、ハイク部会を担当し、ライドシェア阻止闘争でも大きな力を発揮していた前事務局長が、慶島議長が退任。労働運動家として過ごした半生の締めくくりとして、後進に次のように思いを託しました。

我々の手で「誰も排除しない社会」を

籍を問わず、利用者が不当な差別・不利益な取り扱いをされないことだ。公共交通は「誰一人この社会から排除しない、孤立させない、包摂していく」という機能を有している。それが懐の広い社会、平和な社会をつくる基礎になる。

この価値を担えるのが、我々交通運輸観光サービスで働く仲間だ。色々な方がいて、懐の広い組織であることが交運労協の魅力。ぜひこれからも、多様性・包摂性という労働組合にとって一番の価値を大切にしたい。

岩手県知事に要望

岩手県交運労協は、9月22日、達増拓也知事への要請行動を実施。県交運の副議長を務める全自交岩手地方本部の森茂委員長らが、県庁を訪問しました。

森副議長は、昨年2月の岩手中央タクシー破産、今年7月の平和タクシー破産などの厳しい情勢に触れ「運賃改定があっても、まだ3割の企業が赤字の見込みだ。タクシー事業者への支援を継続・拡充してほしい」と要望。達増知

最優秀賞「全自交関西」

第53回全自交機関紙コンクール



表彰状を受け取る日交労の黒木守教宣部長（左）



表彰状を受け取る関西地連の成田次雄書記長（左）

大会会場では、第53回機関紙コンクールの表彰が行われました。昨年は外部審査員不在のため、順位を付けない形での開催となりましたが、今年には新たな外部審査員を選定。全国から応募した25紙の

機関紙を、企画の内容、わかりやすさ、読みやすさなどの項目に沿って客観的な評価で審査しました。

特別賞に日交労働組合本部の発行する「いしずえ」、最優秀賞に全自交関西地連の発行する「全自交関西」が選ばれ、壇上で掛川正一副中央執行委員長が代表者に表彰状と記念品を授与しました。

☆特別賞

『いしずえ』

東京・日交労働組合

☆最優秀賞

『全自交関西』

全自交関西地方連合会

☆優秀賞

『みたか』

東京・日交労働組合三鷹支部

『中央』

東京・日交労働組合中央支部

☆佳作

『千住』

東京・日交労働組合千住支部

『いたばしの風』

東京・日交労働組合板橋支部

『全自交関西電子版』

全自交関西地方連合会

『湾岸新木場』

東京・日交労働組合湾岸支部

『全自交東京』

全自交東京地方連合会

『赤羽G.com』

東京・日交労働組合赤羽支部

『友和ニュース』

大阪・ナショナルタクシー労働組合

『帝労ニュース』

東京・帝都自動車交通労働組合

☆敢闘賞

『やくしん』

東京・大日本労働組合

『機関紙ざんざ』

東京・日交労働組合銀座支部

『躍進』

東京・東洋交通労働組合

『友報』

神奈川・神奈川都市交通労働組合

『あかさか』

東京・日交労働組合赤坂支部

『羅針盤』

東京・日交労働組合八潮支部

☆努力賞

『つばめ』

神奈川・国際自動車横浜労働組合

『全相労ニュース』

大阪・全相互タクシー労働組合

『おおみや』

埼玉・日交労働組合大宮支部

『素敵な選タクシー』

大阪・朝日自動車労働組合

『全自交いしかわ』

全自交石川ハイタク連合会

『労報 火打ち石』

大阪・大阪トンボ交通労働組合

『帝労渋谷ニュース』

東京・帝都自動車交通労働組合渋谷支部

全米交通労組が来日 無人化への対応討論



左から二人目が森委員長、同三人目が達増知事



全米交通労組のコスター委員長（右から二人目）

北米のバスや鉄道の労働組合「全米交通労働組合」が来日し、10月6日、東京で無人化・自動運転への対応に関し、意見を交換しました。ITF（国際運輸労連）を通じて取り組みで、日本側は交運労協の池之谷潤議長を筆頭に交通運輸系労組が対応しました。全米交通労組のジョン・コスター委員長は、企画の内容、わかりやすさ、読みやすさなどの項目に沿って客観的な評価で審査しました。

特別賞に日交労働組合本部の発行する「いしずえ」、最優秀賞に全自交関西地連の発行する「全自交関西」が選ばれ、壇上で掛川正一副中央執行委員長が代表者に表彰状と記念品を授与しました。

スター国際委員長はアメリカやカナダでも鉄道バスの自動化が進みつつある状況を述べ、雇用と賃金を守る為に自動化に反対する意向を語りました。

一方、日本側は深刻な人材不足により、自動化に全面的に反対できない事情があることも説明。全自交労連の津田光太郎書記次長は「安全を守るのには最後は人だ。全自交は将来的に自動化が進んでも雇用と賃金を守り、生涯職業の魅力を守るための方針を確立する予定だ」と述べました。